

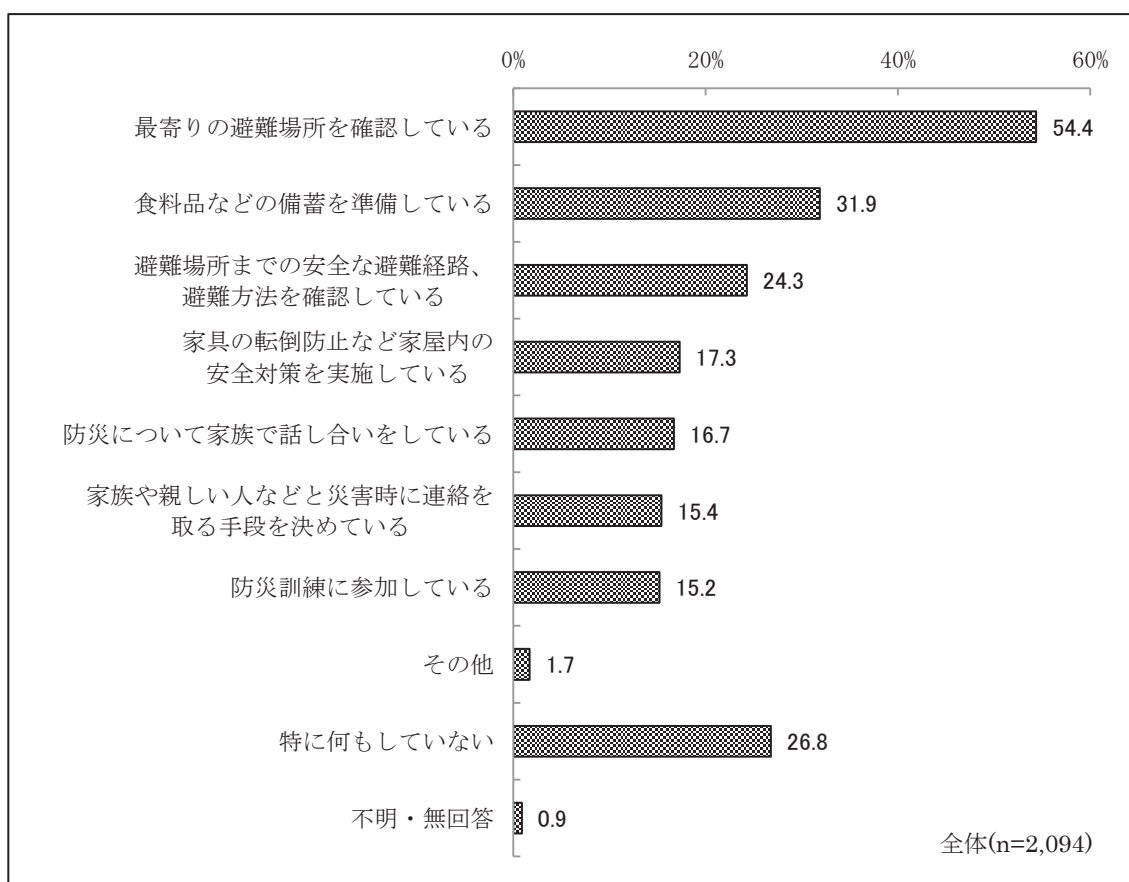
## II 調查結果



## 1. 災害への備えについて

### (1) 災害対策

問8 あなたが日ごろから災害に備えていることは何ですか。  
(〇はいくつでも)



「最寄りの避難場所を確認している」が最も多い

#### 【全体結果】

災害に備えて最も行われている対策は、「最寄りの避難場所を確認している」(54.4%)で5割を超えている。次いで「食料品などの備蓄を準備している」(31.9%)、「避難場所までの安全な避難経路、避難方法を確認している」(24.3%)と続いている。一方で、「特に何もしていない」も26.8%となっている。

【属性別結果】（図 1-1 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「最寄りの避難場所を確認している」については、北区（59.7%）の割合が最も高く、西蒲区（45.1%）の割合が最も低くなっている。

「食料品などの備蓄を準備している」の割合は中央区（37.3%）、「避難場所までの安全な避難経路、避難方法を確認している」の割合は西区（27.3%）で高くなっている。

②性別

「避難場所までの安全な避難経路、避難方法を確認している」の割合は、女性（21.5%）よりも男性（28.3%）の方が高くなっている。

③年齢別

「最寄りの避難場所を確認している」の割合は、65～74歳（62.5%）と60～64歳（60.6%）で高く、「避難場所までの安全な避難経路、避難方法を確認している」の割合は、65～74歳（39.6%）で高くなっている。

図 1-1 災害に備えて行っていること（地区別／性別／年齢別） 1/2

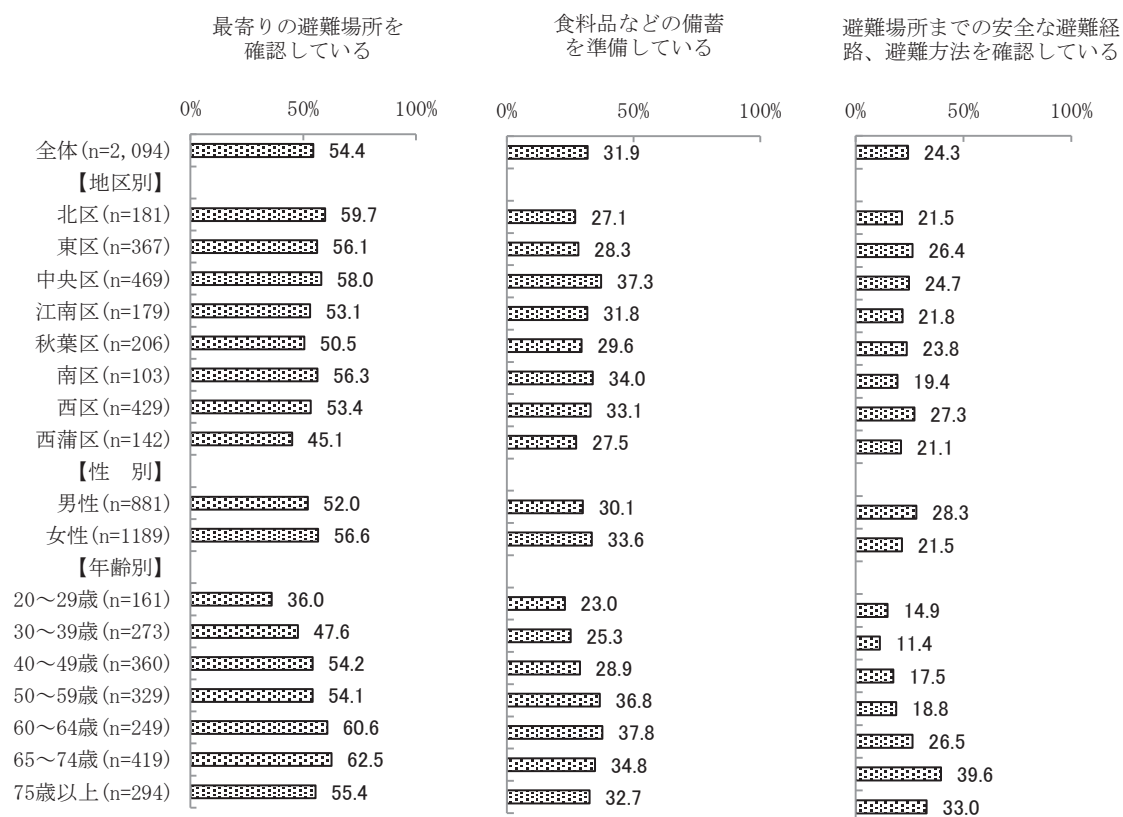
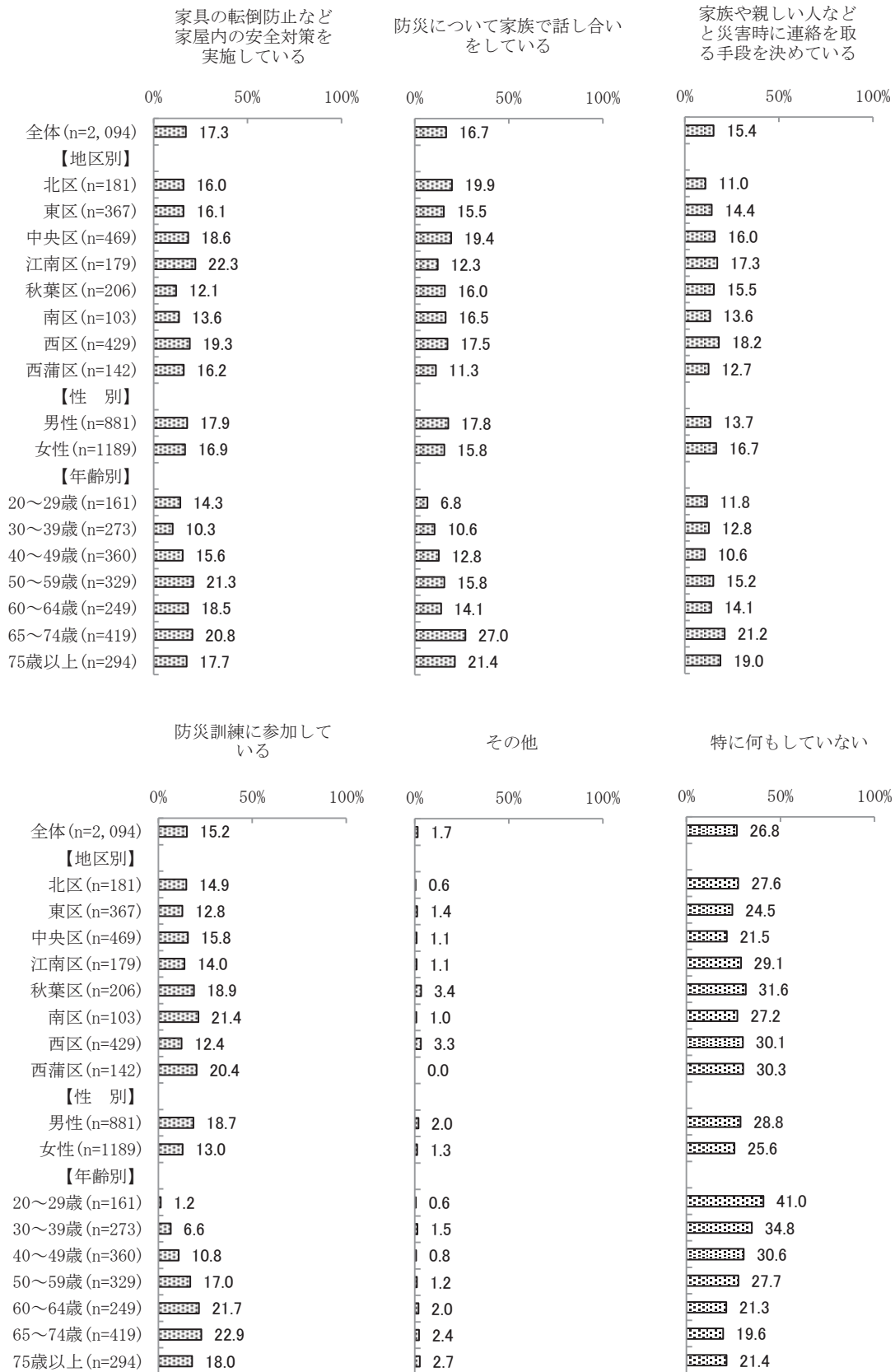


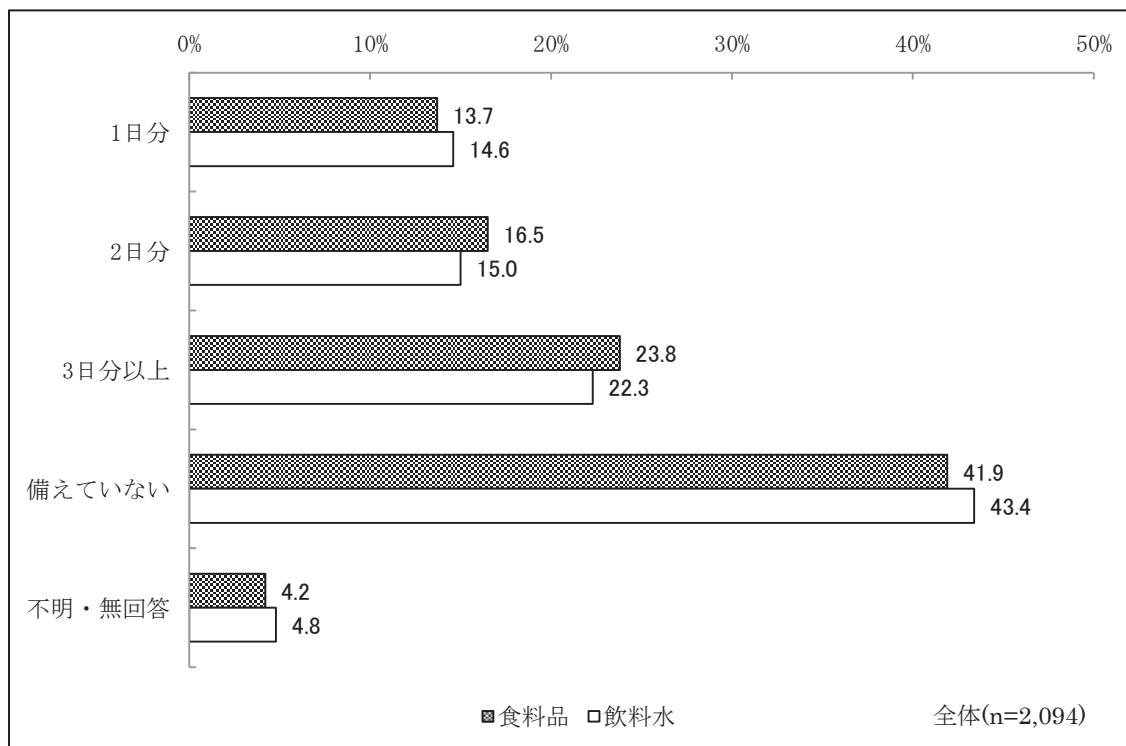
図 1-1 災害に備えて行っていること（地区別／性別／年齢別） 2/2



## (2) 災害用の食料品・飲料水の備蓄

問9 災害用の備蓄として、食料品・飲料水（1～3リットル/日）は最低限3日分必要と言われていますが、あなたの家庭では何日分備えていますか。

（○はそれぞれ1つずつ）



食料品、飲料水とも「備えていない」が最も多い

### 【全体結果】

食料品、飲料水いずれの備蓄も同様の傾向で、「備えていない」（それぞれ41.9%、43.4%）の割合が最も高く、「3日分以上」（同23.8%、22.3%）、「2日分」（16.5%、15.0%）と続いている。

### 【属性別結果】（図1-2参照）

#### ①地区別

「3日分以上」の割合が高いのは、食料品では南区（27.2%）、飲料水では中央区（25.4%）となっている。

#### ②性別

食料品、飲料水とも「3日以上」は、男性（それぞれ24.6%、22.8%）が女性（同23.0%、21.9%）をやや上回っている。

### ③年齢別

「3日以上」の割合は、食料品、飲料水とも65～74歳が、それぞれ31.3%、32.2%と最も高くなっている。

図 1-2-1 災害用の食料品の備蓄量（地区別／性別／年齢別）

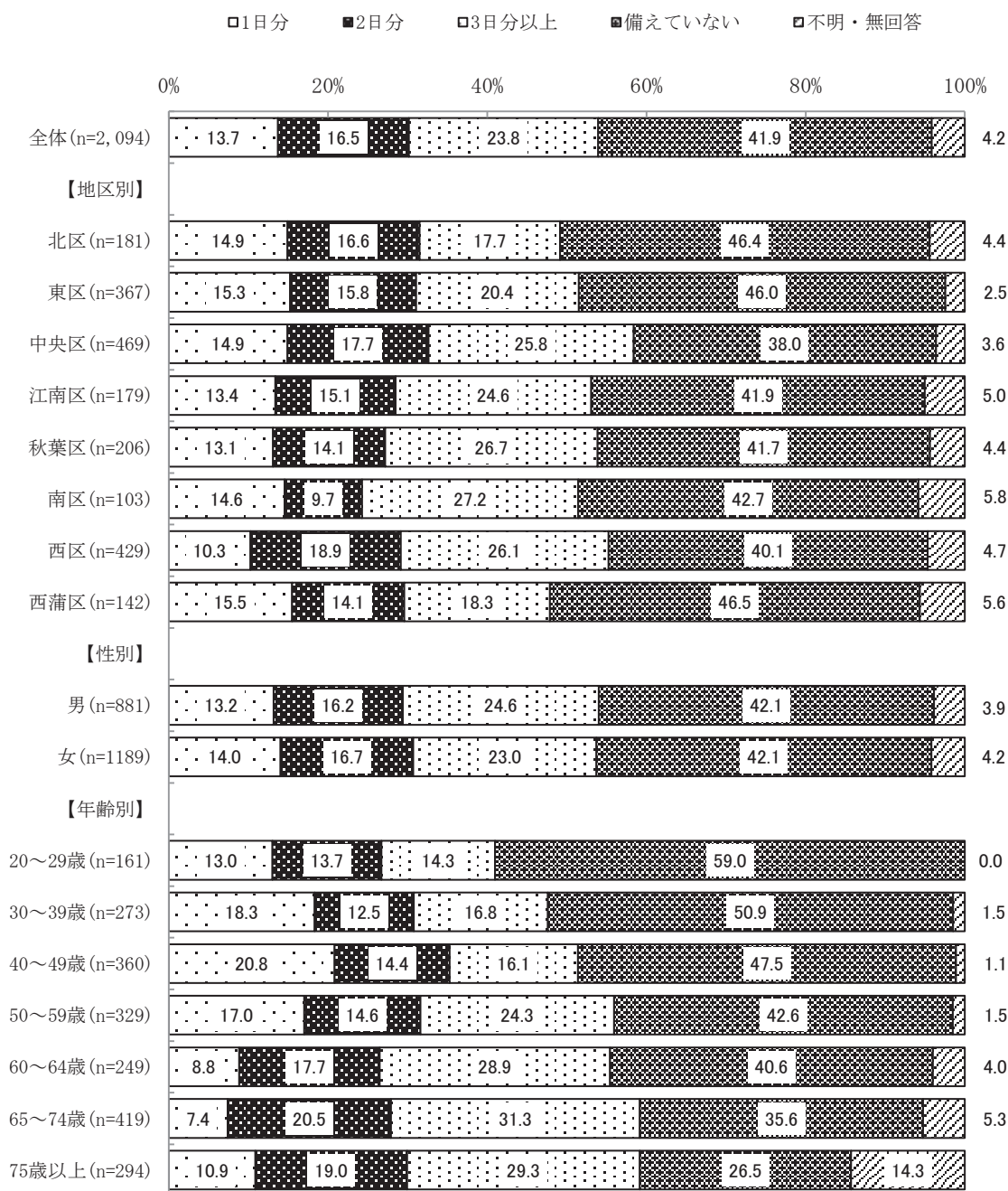
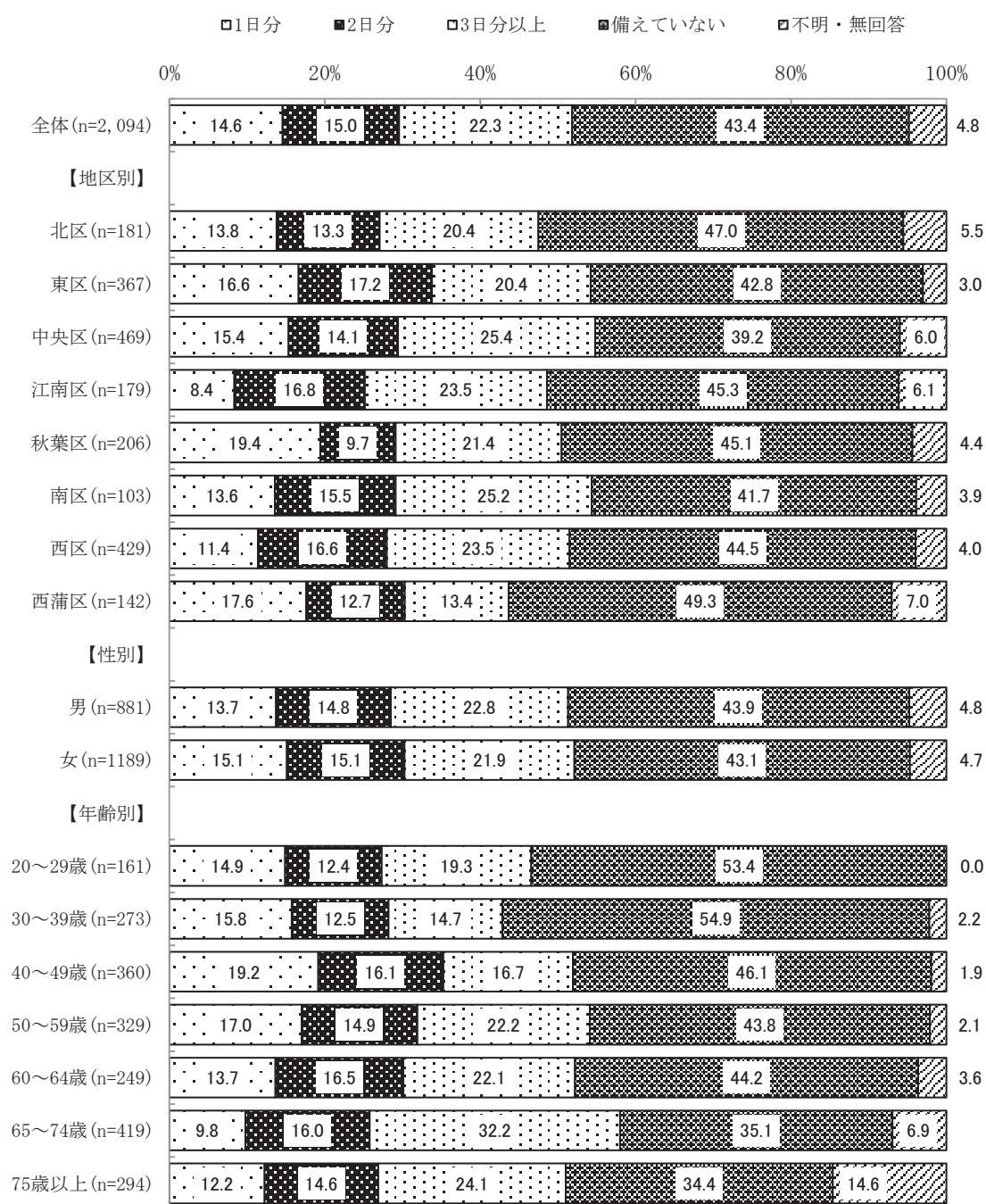


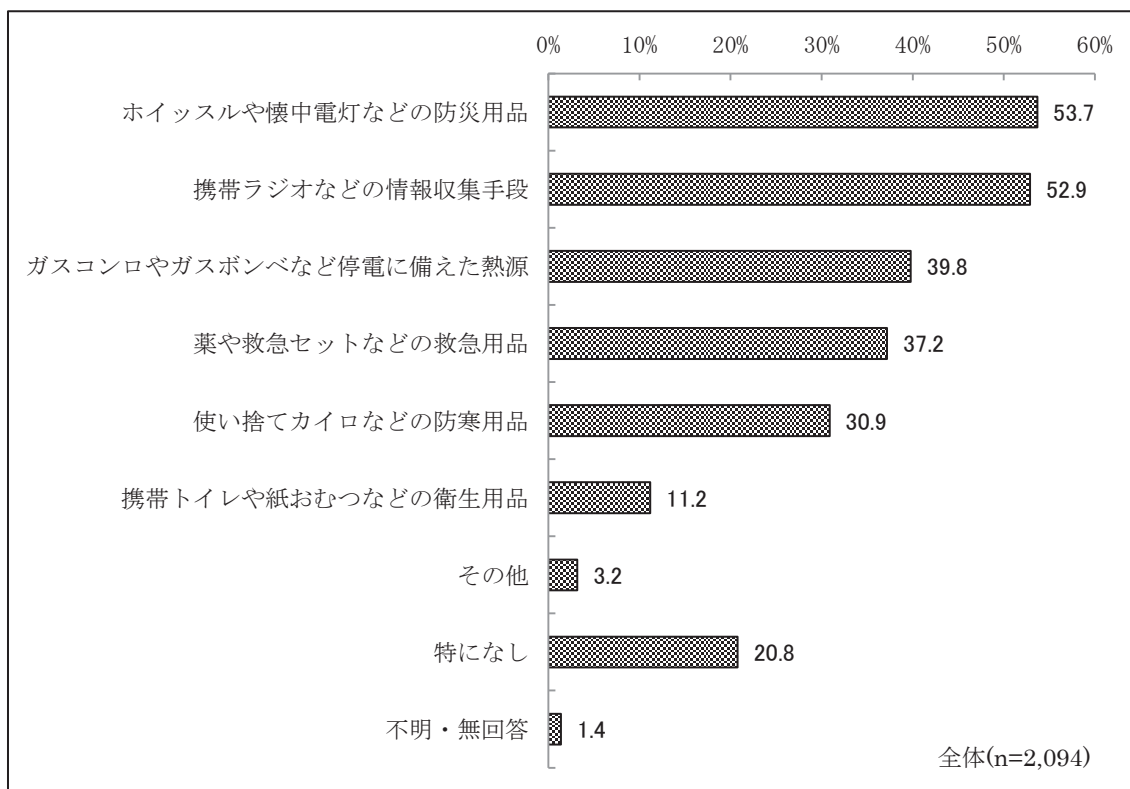
図 1-2-2 災害用の飲料水の備蓄量（地区別／性別／年齢別）





### (3) その他災害用の備蓄品

問10 災害用の備蓄として、食料品・飲料水以外で、あなたの家庭で備えているものがありますか。  
(〇はいくつでも)



家庭での備蓄は「防災用品」「情報収集手段」が多い

#### 【全体結果】

災害用の備蓄品としては、「ホイッスルや懐中電灯などの防災用品」(53.7%)、「携帯ラジオなどの情報収集手段」(52.9%)の割合が高く、それぞれ5割を超えている。また、「ガスコンロやボンベなど停電に備えた熱源」(39.8%)、「薬や救急セットなどの救急用品」(37.2%)、「使い捨てカイロなどの防寒用品」(30.9%)が3割以上となっている。

#### 【属性別結果】(図1-3参照)

##### ①地区別

「ホイッスルや懐中電灯などの防災用品」については、西区(57.3%)が最も高い。「携帯ラジオなどの情報収集手段」では、江南区(59.8%)、秋葉区(59.2%)が高い割合となっている。

また、「ガスコンロやボンベなど停電に備えた熱源」は、江南区（51.4%）が唯一5割を超える高い割合となっている。

## ②性別

「使い捨てカイロなどの防寒用品」の割合は、男性（24.2%）を女性（36.0%）が大きく上回っている。

## ③年齢別

「ガスコンロやボンベなど停電に備えた熱源」については、20～29歳が19.3%であるのに対し、60～64歳（50.6%）、50～59歳（47.7%）、65～74歳（45.3%）が高い割合となっている。

図 1-3 災害用として備えているもの（地区別／性別／年齢別） 1/2

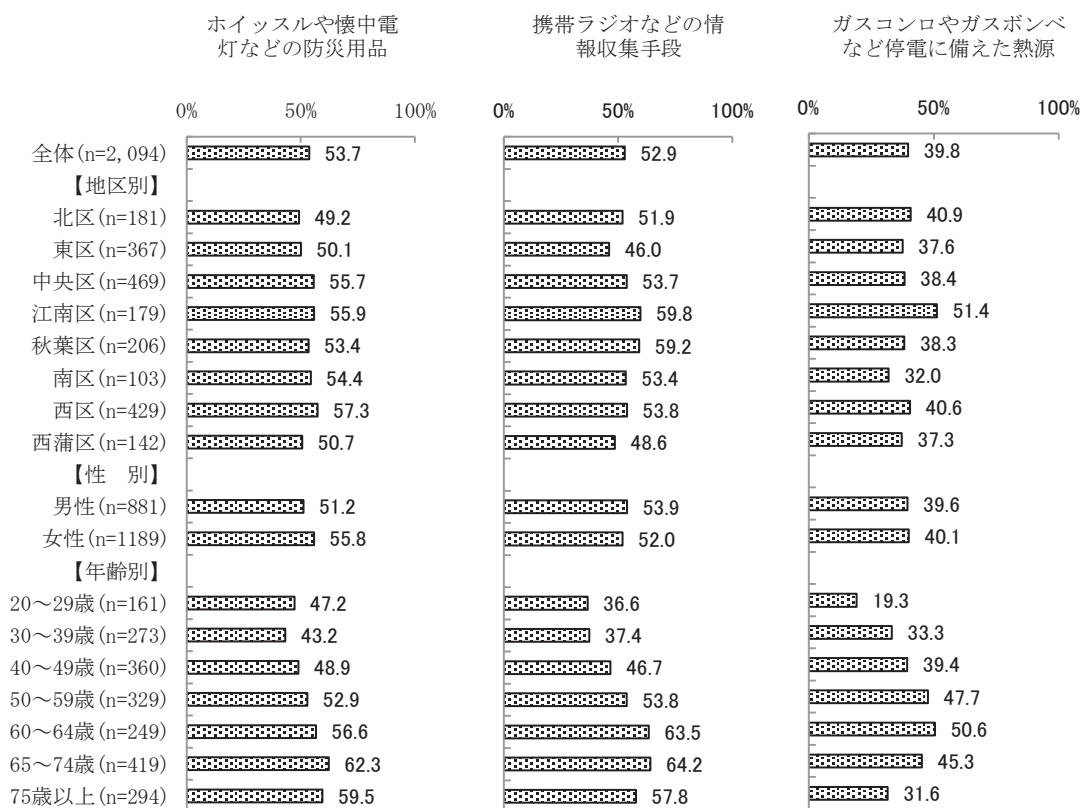
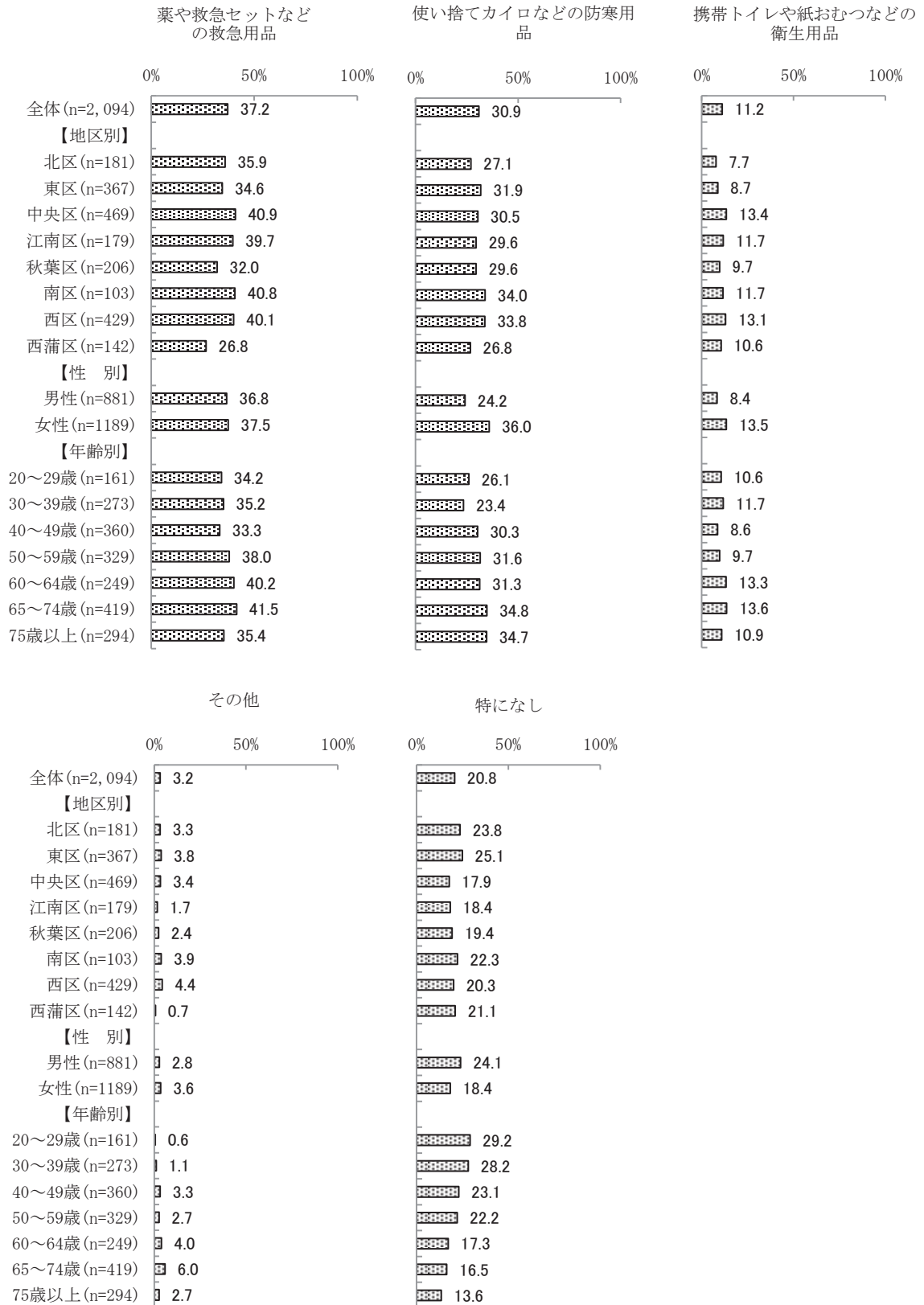
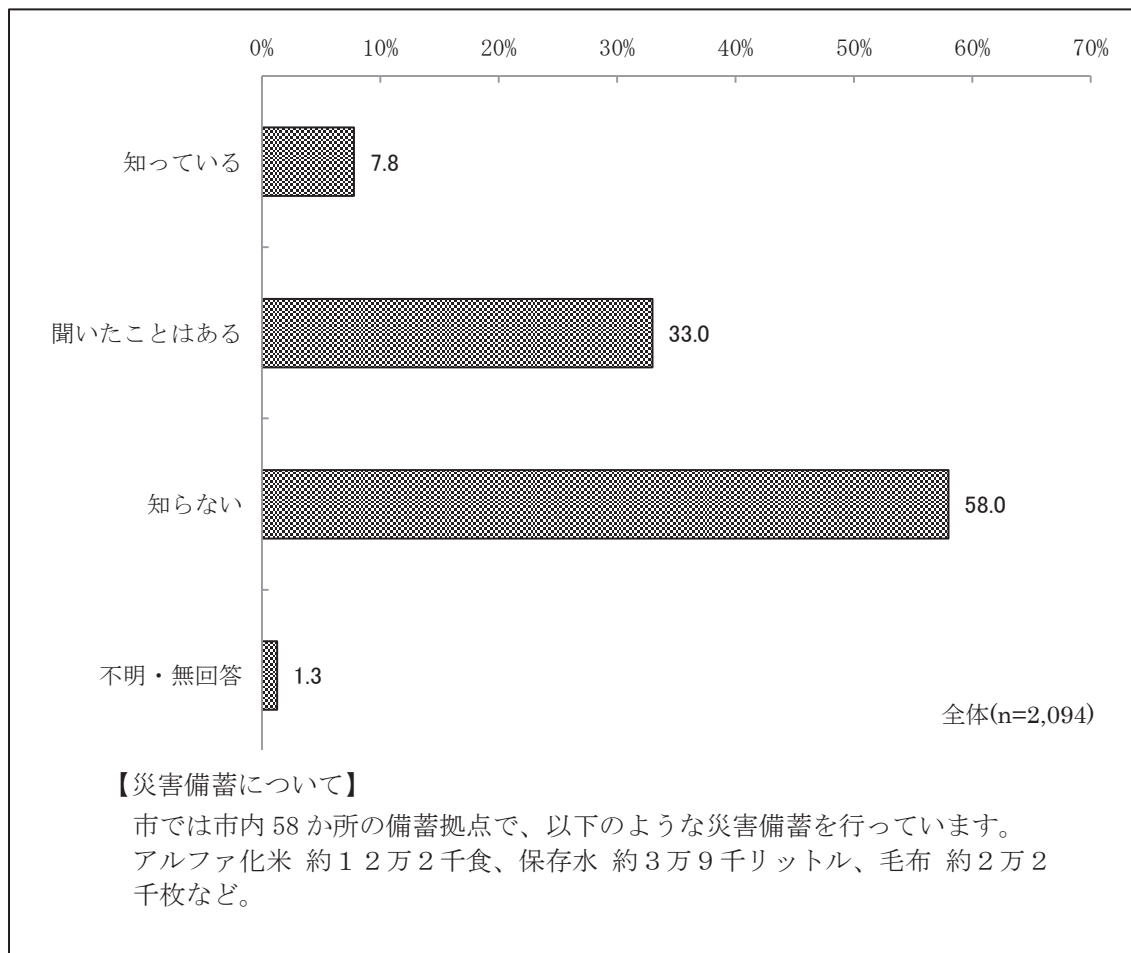


図 1-3 災害用として備えているもの（地区別／性別／年齢別） 2/2



#### (4) 市が災害用に物資を備蓄していることの認知度

問 1 1 あなたは、市が備蓄している物資の種類について知っていますか。  
(○は1つだけ)



#### 4 割が災害用備蓄物資を認知している

##### 【全体結果】

市が備蓄している物資の種類については、「知っている」が 7.8%、「聞いたことはある」が 33.0%となっており、4 割が備蓄を認知している。

一方で、「知らない」が 58.0%となっている。

##### 【属性別結果】(図 1-4 参照)

###### ①地区別

「知っている」は西蒲区 (10.6%)、江南区 (10.1%) で高くなっている。「知っている」と「聞いたことはある」を合わせた認知度では、江南区が最も高い割合となっている。

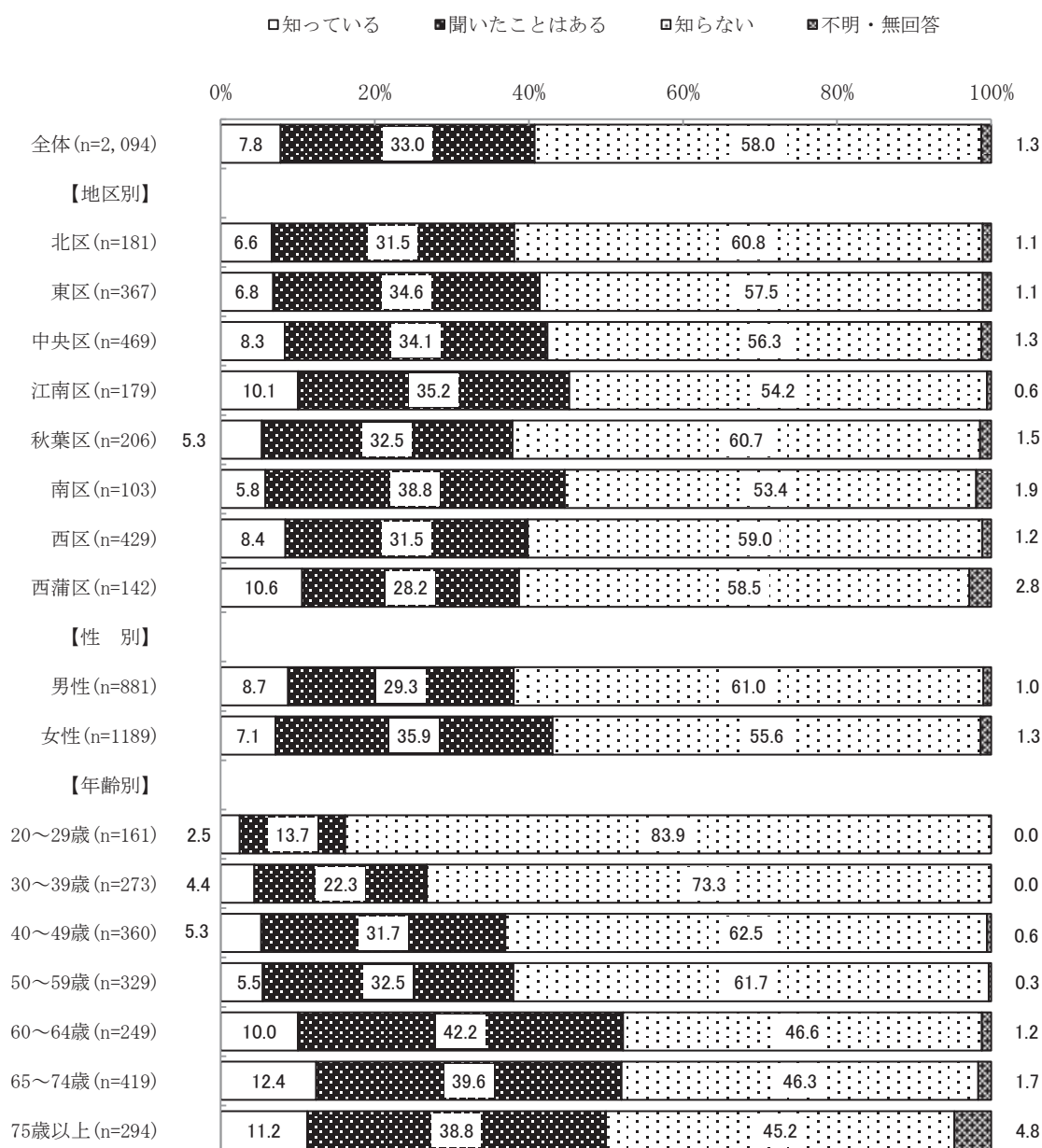
## ②性別

「知っている」では、男性（8.7%）が女性（7.1%）を上回っているが、「知っている」と「聞いたことはある」を合わせた割合では、逆に女性の方が高くなっている。

## ③年齢別

60～64歳（10.0%）、65～74歳（12.4%）、75歳以上（11.2%）はいずれも「知っている」が1割を超えており、それ以下の世代のおよそ2倍となっている。

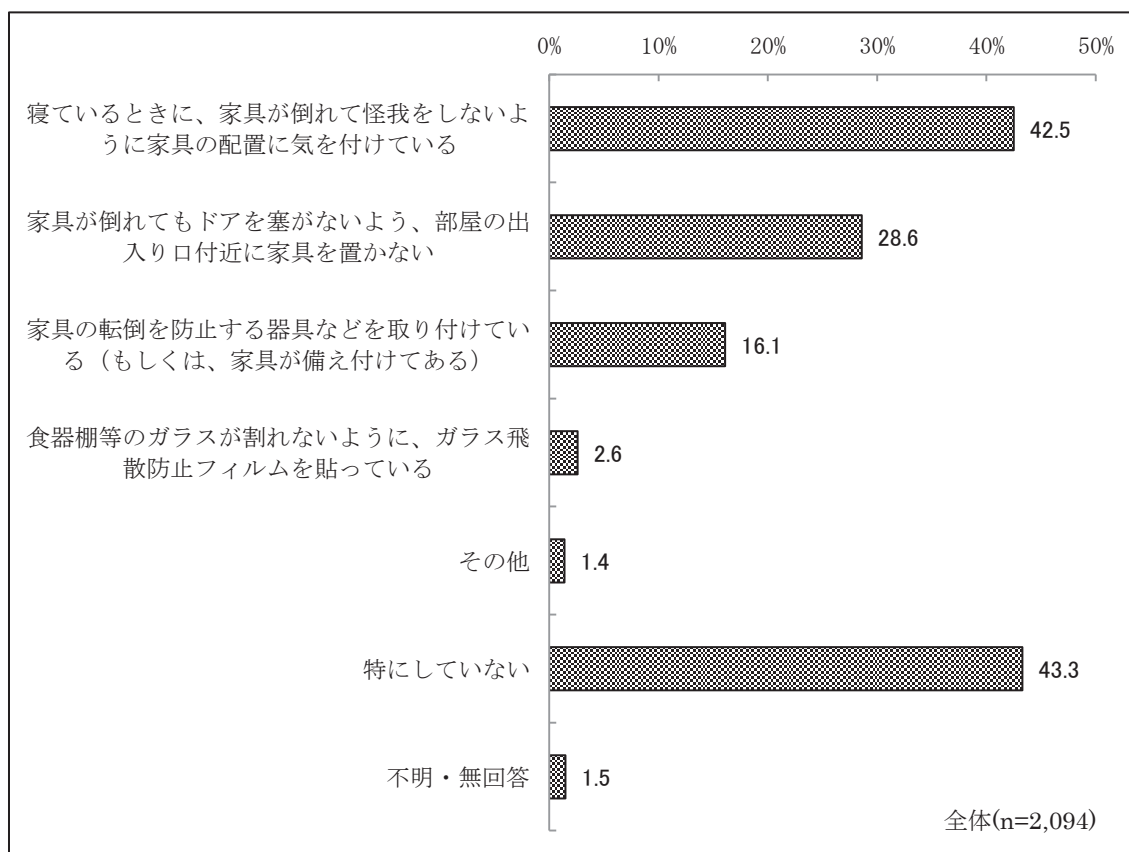
図 1-4 市の災害用物資備蓄の認知状況（地区別／性別／年齢別）



## (5) 地震に備えて家屋内で行っている安全対策

問12 地震による家屋内の安全対策について、あなたが実施していることがあれば、教えてください。

(○はいくつでも)



「家具の配置に気を付けている」が対策の1位

### 【全体結果】

安全対策としては、「寝ているときに、家具が倒れて怪我をしないように家具の配置に気を付けている」(42.5%)、「家具が倒れてもドアを塞がないよう、部屋の出入り口付近に家具を置かない」(28.6%)の割合が高くなっている。一方で、「特にしていない」(43.3%)が最も高くなっている。

## 【属性別結果】（図 1-5 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「寝ているときに、家具が倒れて怪我をしないように家具の配置に気を付けている」の割合は、西区（47.8%）が最も高く、西蒲区（33.8%）が最も低くなっている。

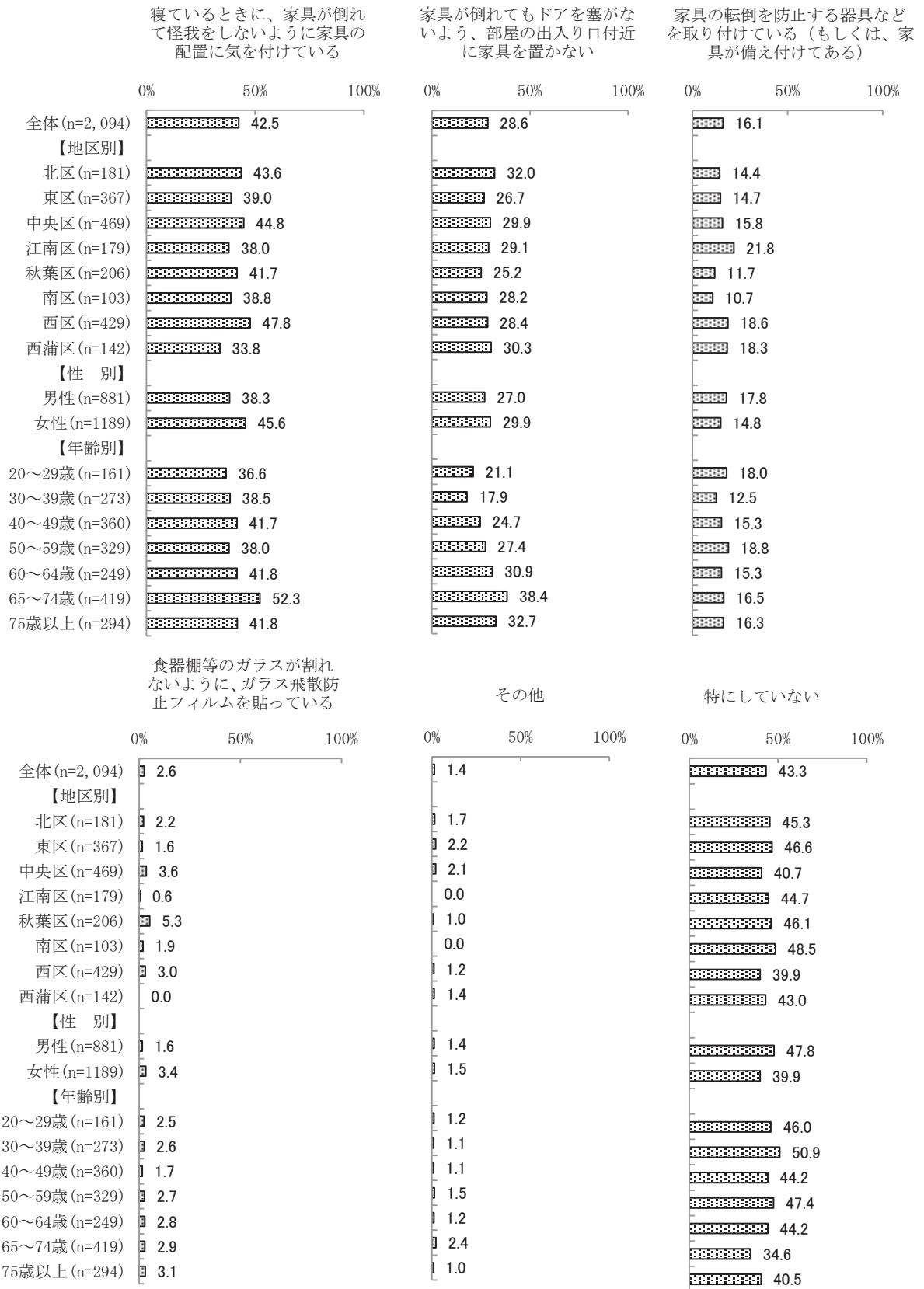
### ②性別

全般的に女性が男性に比べてより安全対策を講じている傾向がみられ、「特にしていない」では、男性（47.8%）が女性（39.9%）を上回っていることにも表れている。

### ③年齢別

「寝ているときに、家具が倒れて怪我をしないように家具の配置に気を付けている」、「家具が倒れてもドアを塞がないよう、部屋の出入り口付近に家具を置かない」では、65～74歳がそれぞれ 52.3%、38.4%でいずれも最も高い割合となっている。

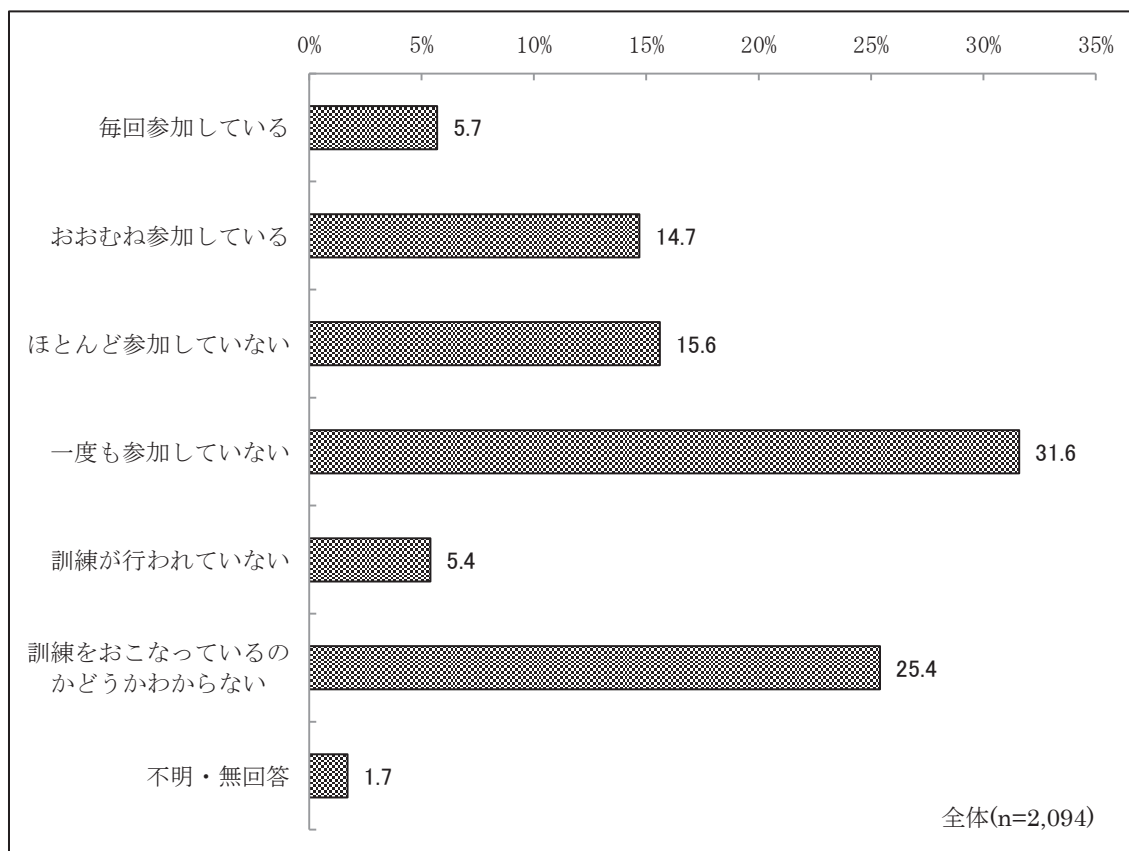
図 1-5 地震に備えて家屋内で行っている安全対策（地区別／性別／年齢別）





## (6) 地域の防災訓練への参加状況

問13 あなたは地域の防災訓練に参加したことがありますか。  
(○は1つだけ)



「一度も参加していない」が最も多い

### 【全体結果】

「毎回参加している」(5.7%)、「おおむね参加している」(14.7%)の合計は2割を超えている。一方、「一度も参加していない」(31.6%)、「訓練をおこなっているのかどうかわからない」(25.4%)が高い割合となっている。

### 【属性別結果】(図1-6参照)

#### ①地区別

「毎回参加している」では西蒲区(8.5%)が高い割合となっており、「おおむね参加している」では南区(26.2%)が目立って高い割合となっている。

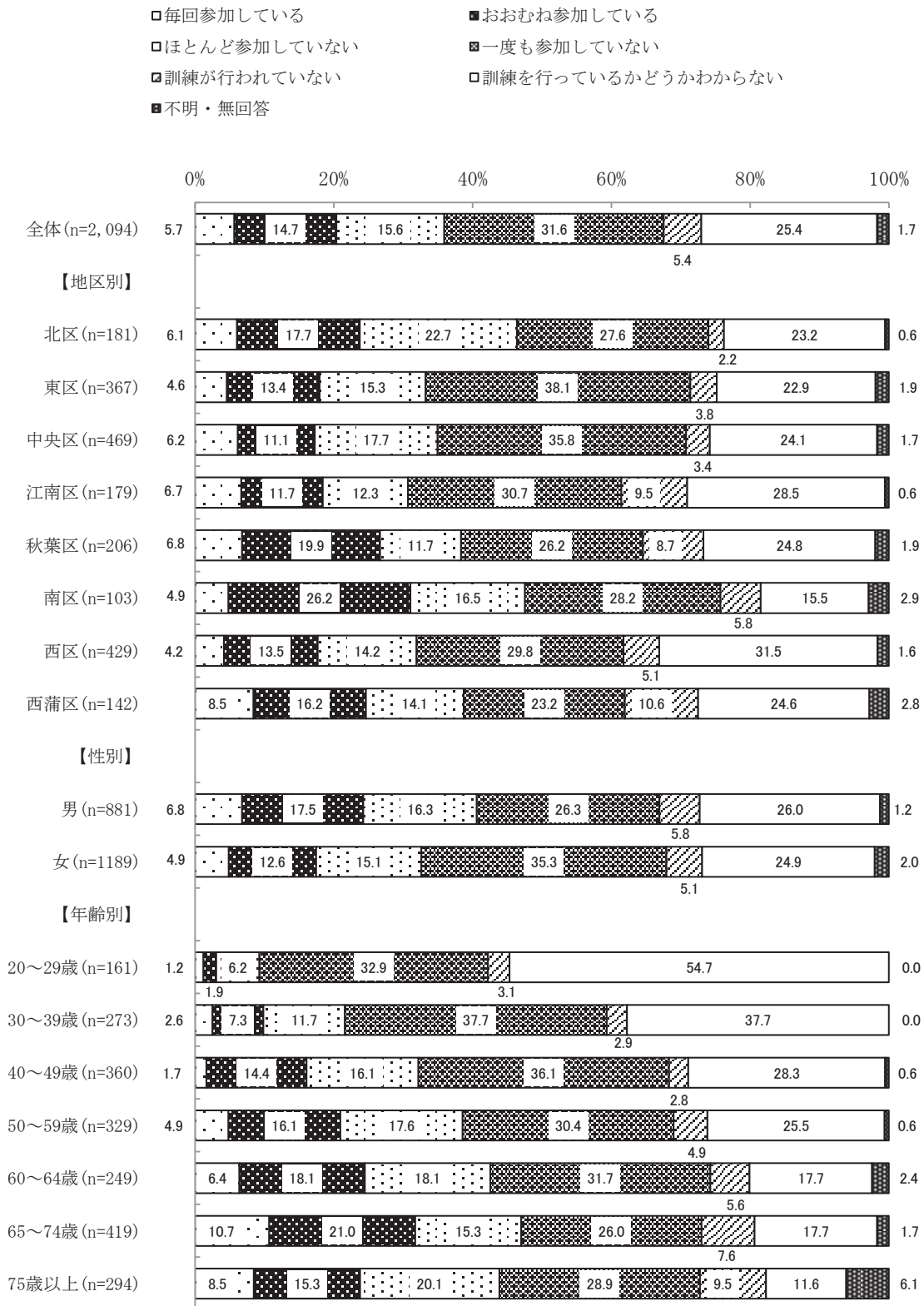
## ②性別

「毎回参加している」、「おおむね参加している」で男性はそれぞれ6.8%、17.5%と、女性の4.9%、12.6%を上回っている。「一度も参加していない」については、女性(35.3%)が男性(26.3%)より高い割合となっている。

## ③年齢別

「毎回参加している」では、65～74歳(10.7%)が唯一1割を超えている。同年代は「おおむね参加している」においても21.0%と、最も高い割合となっている。

図 1-6 地域の防災訓練への参加状況（地区別／性別／年齢別）



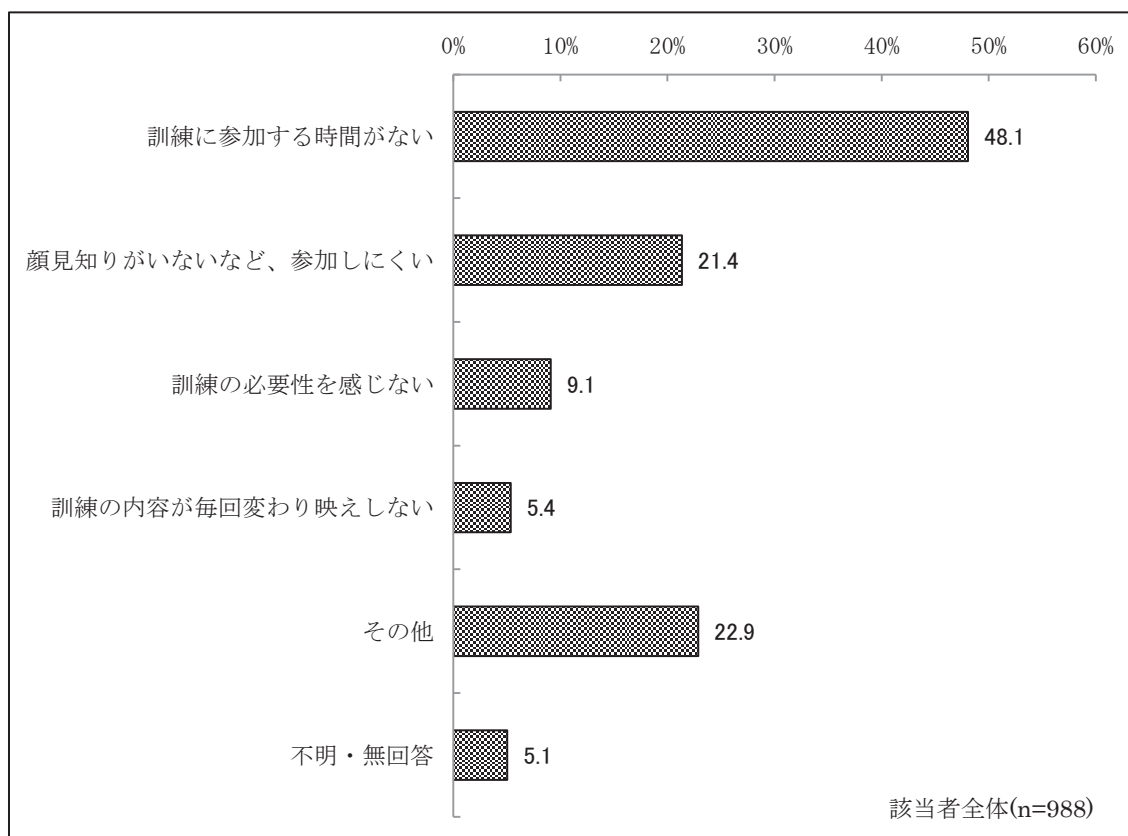
## (7) 地域の防災訓練へ参加しない理由

(問13で「参加していない」と回答した方への該当質問)

問14 地域の防災訓練に参加していないと答えた方にお聞きします。

あなたが、地域の防災訓練に参加しない理由はどれですか。

(○はいくつでも)



参加しない理由は「訓練に参加する時間がない」が最多

### 【全体結果】

防災訓練に参加できない最大の理由は「訓練に参加する時間がない」(48.1%)となっており、「顔見知りがないなど、参加しにくい」(21.4%)がそれに続いている。

### 【属性別結果】 図1-7 参照

#### ① 地区別

「訓練に参加する時間がない」については、北区(54.9%)が最も高い割合となっており、西蒲区(52.8%)、東区(52.0%)がそれに続き5割を超えている。

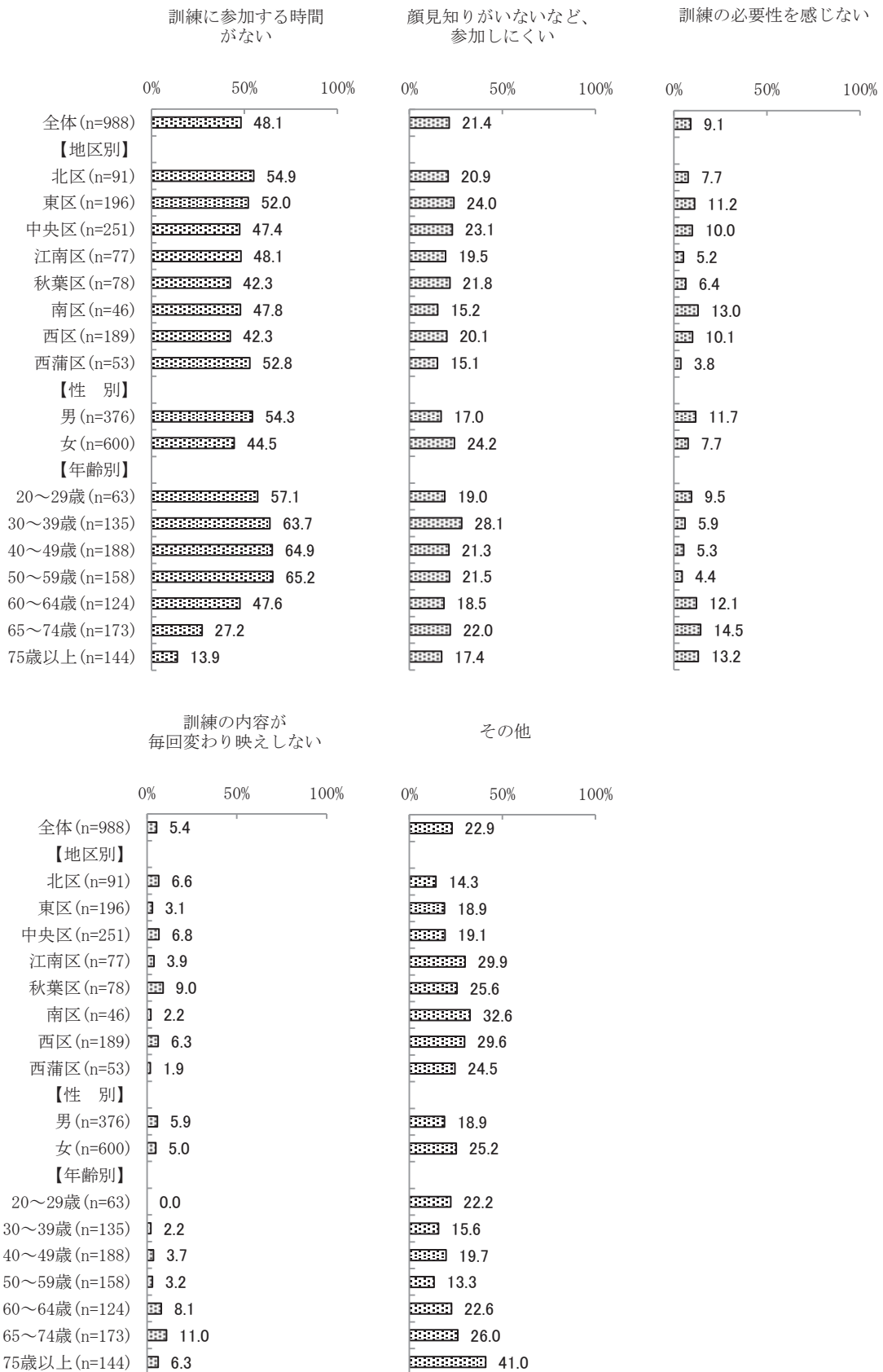
## ②性別

「訓練に参加する時間がない」で男性（54.3%）が女性（44.5%）より割合が高い。「顔見知りがないなど、参加しにくい」では、女性（24.2%）の方が、男性（17.0%）より割合が高い。

## ③年齢別

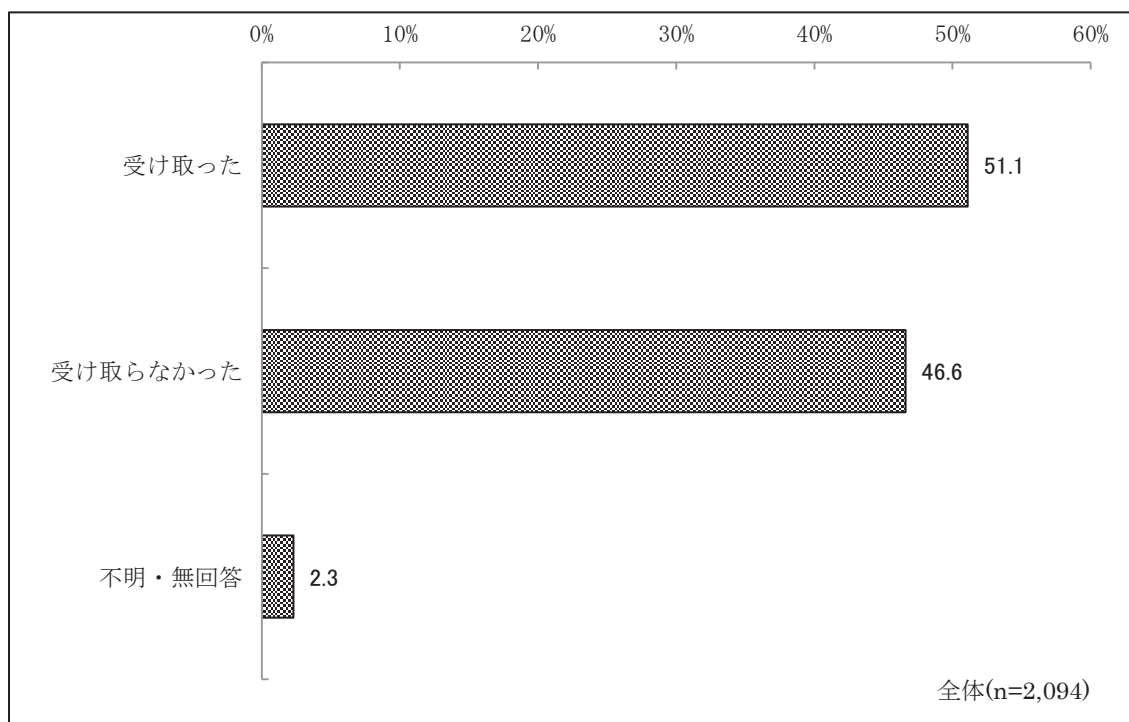
「訓練に参加する時間がない」では、30～39歳（63.7%）、40～49歳（64.9%）、50～59歳（65.2%）がいずれも6割を超えている。「顔見知りがないなど、参加しにくい」については、30～39歳（28.1%）が最も高い割合となっている。

図 1-7 地域の防災訓練へ参加しない理由（地区別／性別／年齢別）



## (8) 災害情報（訓練放送）を受け取ったかどうか

問15 新潟市では6月16日13:03に、災害時にどういった伝達手段で災害情報を受け取れるか、市民の皆さまにご確認いただくため、情報伝達訓練を実施し、緊急速報メールや同報無線、緊急告知FMラジオなどで一斉に訓練放送しました。あなたは6月16日に災害情報（訓練放送）を受け取りましたか。  
(○は1つだけ)



災害情報（訓練放送）を「受け取った」が5割以上

### 【全体結果】

災害情報（訓練放送）を「受け取った」（51.1%）が「受け取らなかった」（46.6%）を上回った。

### 【属性別結果】（図1-8参照）

#### ①地区別

「受け取った」については、中央区（56.1%）が最も高い割合となっており、以下、西区（52.9%）、南区（52.4%）と続いている。西蒲区は最も低く、41.5%となっている。

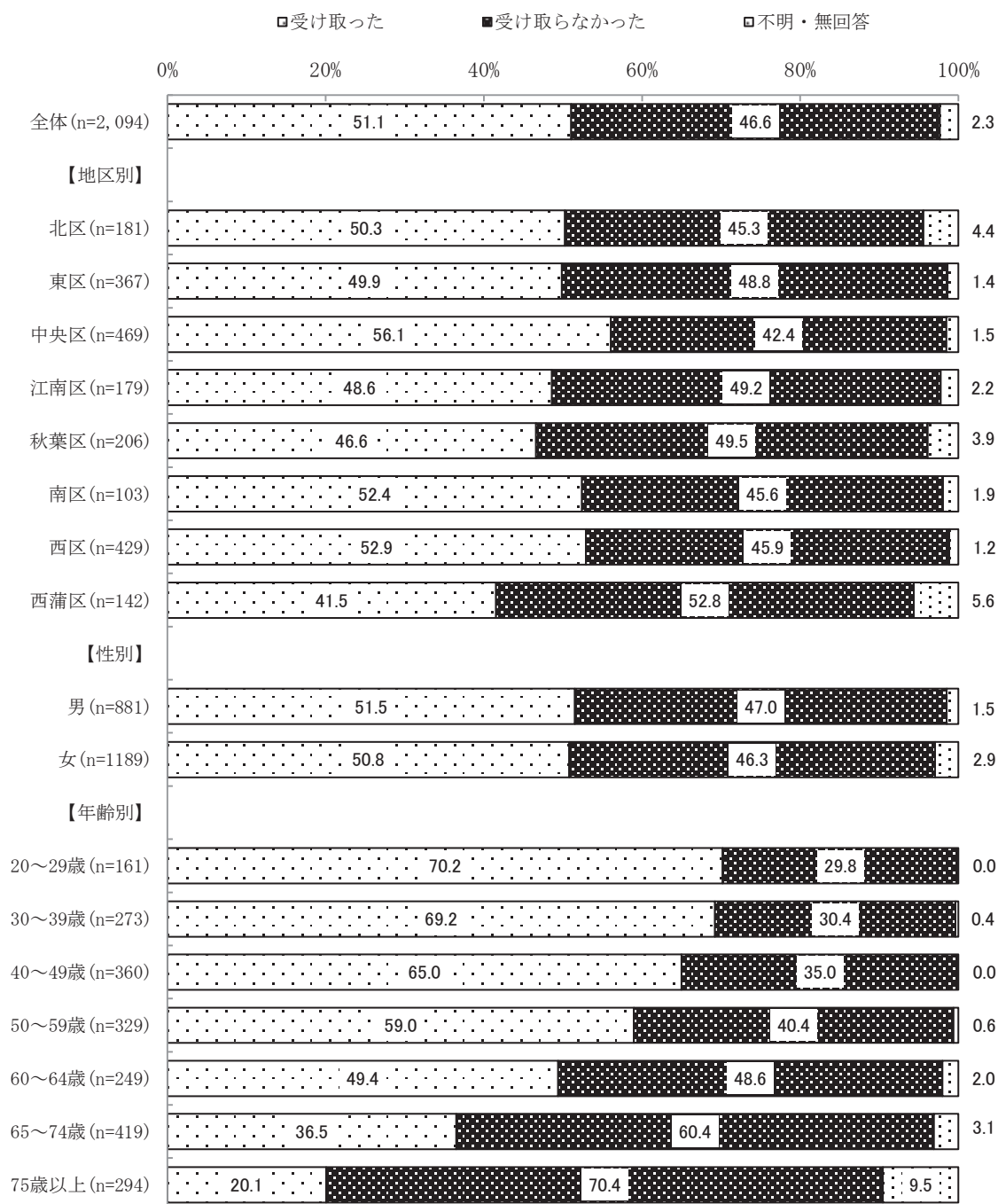
#### ②性別

「受け取った」については、男性（51.5%）が女性（50.8%）をやや上回っている。

### ③年齢別

世代が若くなるにつれ「受け取った」の割合が高くなる傾向が明確で、20～29歳では70.2%、30～39歳では69.2%となっている。

図 1-8 災害情報（訓練放送）を受け取ったかどうか（地区別／性別／年齢別）





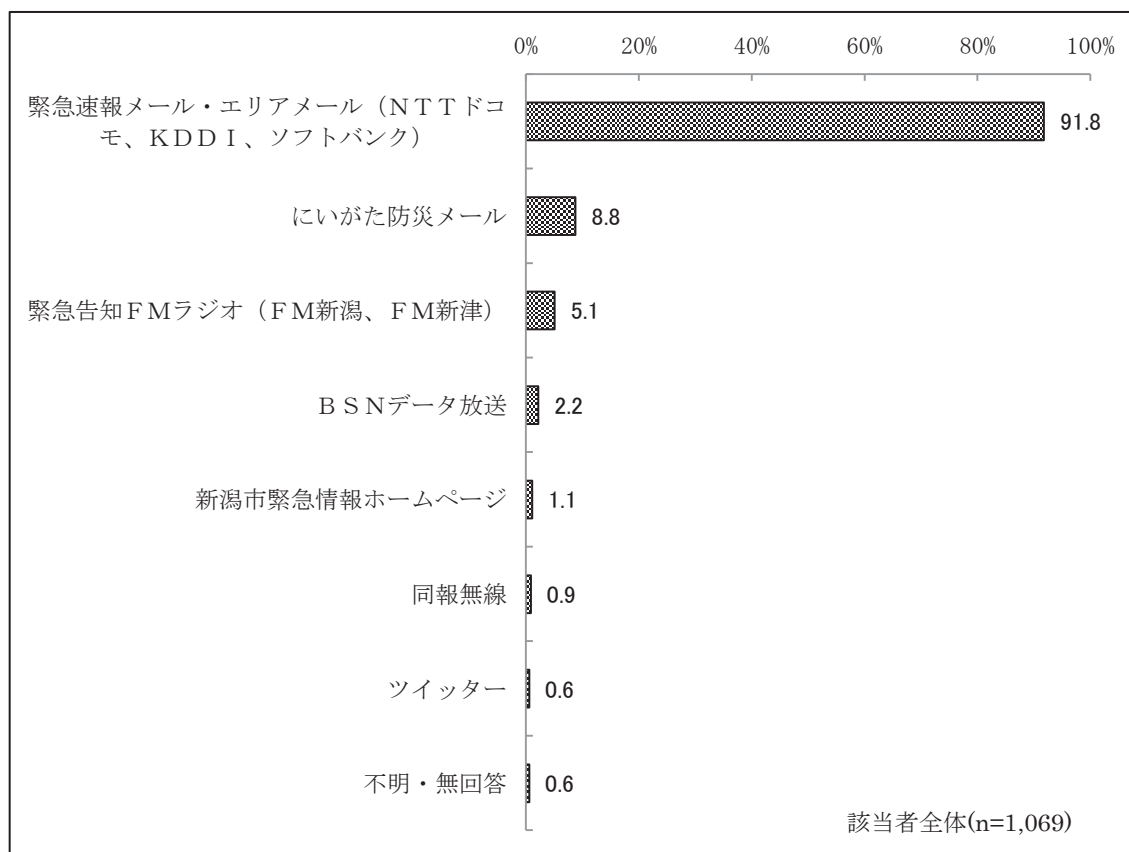
### (9) 災害情報（訓練放送）を受け取った情報伝達手段

（問13で「受け取った」と回答した方への該当質問）

問16 災害情報（訓練放送）を受け取ったと答えた方にお聞きします。

あなたが、災害情報（訓練放送）を受け取った情報伝達手段は何でしたか。

（〇はいくつでも）



#### 「緊急速報メール・エリアメール」が圧倒的多数

#### 【全体結果】

災害情報（訓練放送）を受け取った情報伝達手段としては、「緊急速報メール・エリアメール」(91.8%)が圧倒的で、次いで「にいがた防災メール」(8.8%)、「緊急告知 FM ラジオ」(5.1%)となっている。

#### 【属性別結果】(図 1-9 参照)

##### ①地区別

「緊急速報メール・エリアメール」については秋葉区(95.8%)が最も高い割合で、次いで東区(94.5%)、中央区(94.3%)となっている。

「にいがた防災メール」は南区(18.5%)、「緊急告知 FM ラジオ」は西蒲区(11.9%)で、

割合が高い。

## ②性別

「緊急速報メール・エリアメール」、「にいがた防災メール」いずれも、女性（それぞれ92.1、9.9%）が男性（同91.6%、7.5%）をやや上回っている。

## ③年齢別

「緊急速報メール・エリアメール」については、75歳以上（62.7%）は他の年代を大きく下回っている。一方で、「にいがた防災メール」、「緊急告知FMラジオ」、「BSN データ放送」では、それぞれ13.6%、11.9%、11.9%で、他の年代と比べて割合が高い。

図 1-9 災害情報（訓練放送）を受け取った情報伝達手段（地区別／性別／年齢別） 1/2

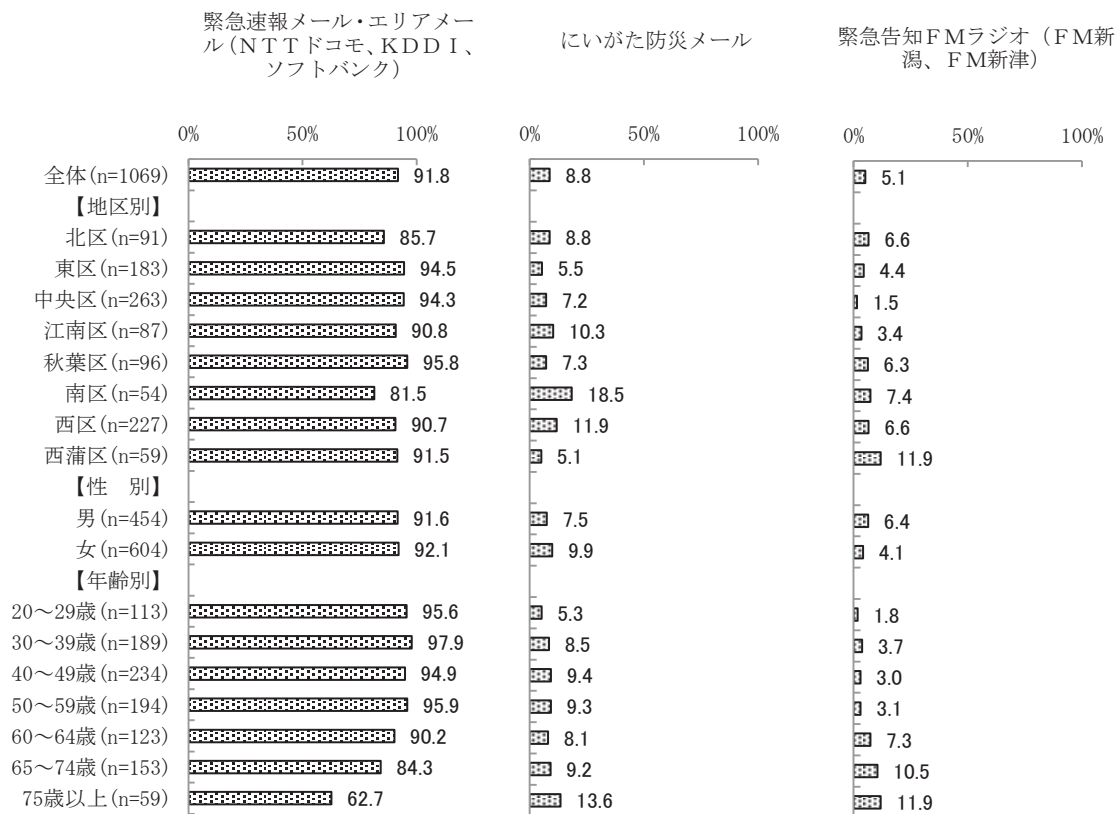
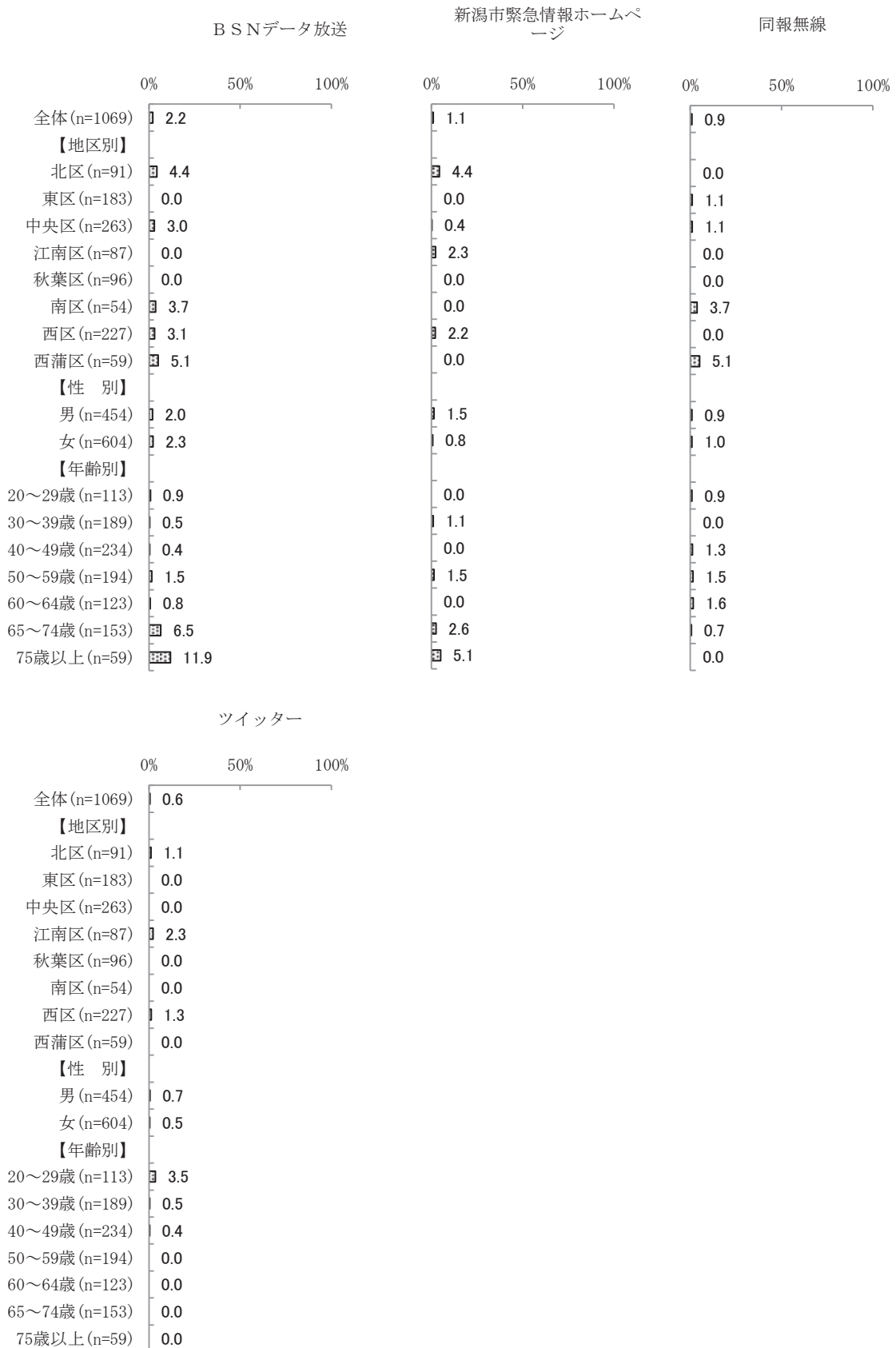


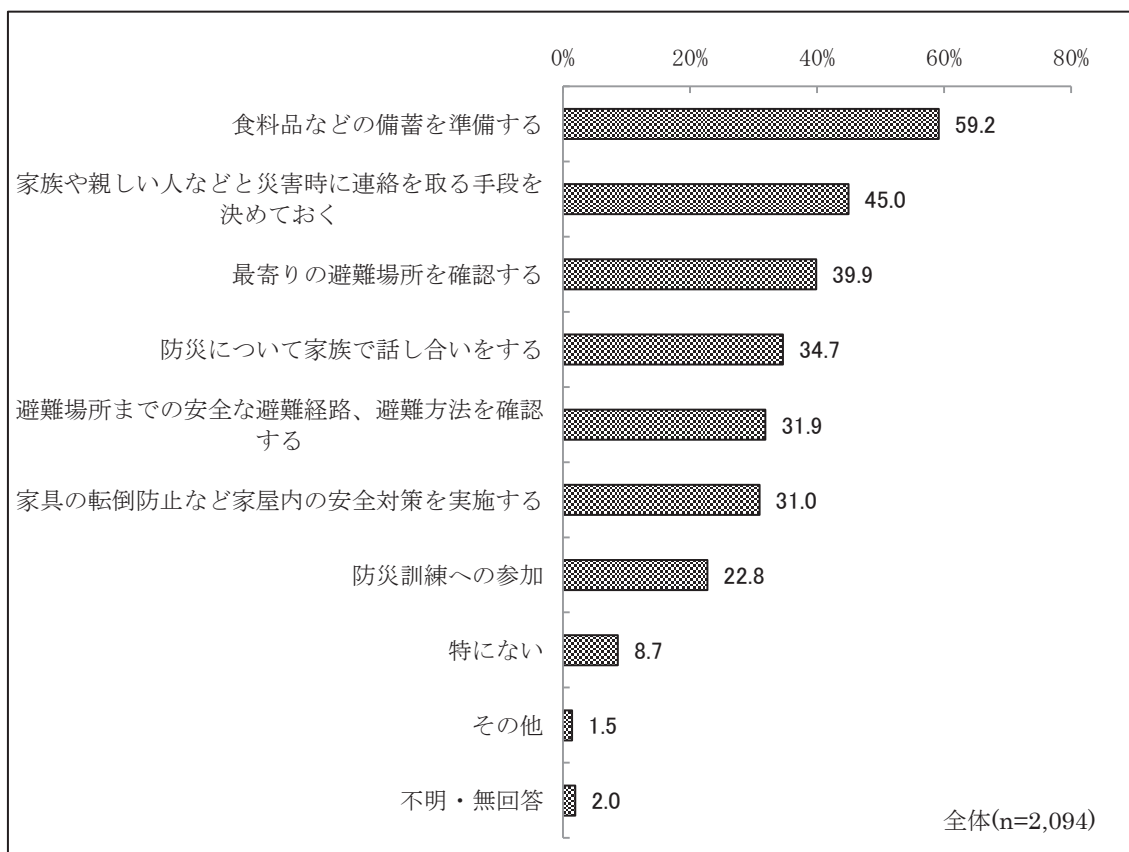
図 1-9 災害情報（訓練放送）を受け取った情報伝達手段（地区別／性別／年齢別） 2/2



## (10) 今後実施したい災害対策

問17 あなたが今後、災害への備えについて実施していきたいと思うことはありますか。

(〇はいくつでも)



—— 実施したい災害対策は「食料品などの備蓄を準備する」が最多 ——

### 【全体結果】

今後実施したい災害対策は、「食料品などの備蓄を準備する」(59.2%)が最も高い割合となっており、「家族や親しい人などと災害時に連絡を取る手段を決めておく」(45.0%)、「最寄りの避難場所を確認する」(39.9%)と続いている。

### 【属性別結果】(図1-10参照)

#### ①地区別

「食料品などの備蓄を準備する」については、江南区(62.6%)が最も割合が高く、次いで東区(61.9%)、西区(61.8%)となっている。「家族や親しい人などと災害時に連絡を取る手段を決めておく」では、西蒲区(50.0%)が最も割合が高い。

## ②性別

ほぼ全ての項目で女性が男性を上回っている一方、「特にない」では、男性（12.5%）が女性（5.7%）を上回っている。

## ③年齢別

全体結果で最も割合の高かった「食料品などの備蓄を準備する」では、40～49歳（69.2%）、30～29歳（67.4%）、20～29歳（65.8%）が、50代以上の世代より高い割合となっている。

図 1-10 今後実施したい災害対策（地区別／性別／年齢別） 1/2

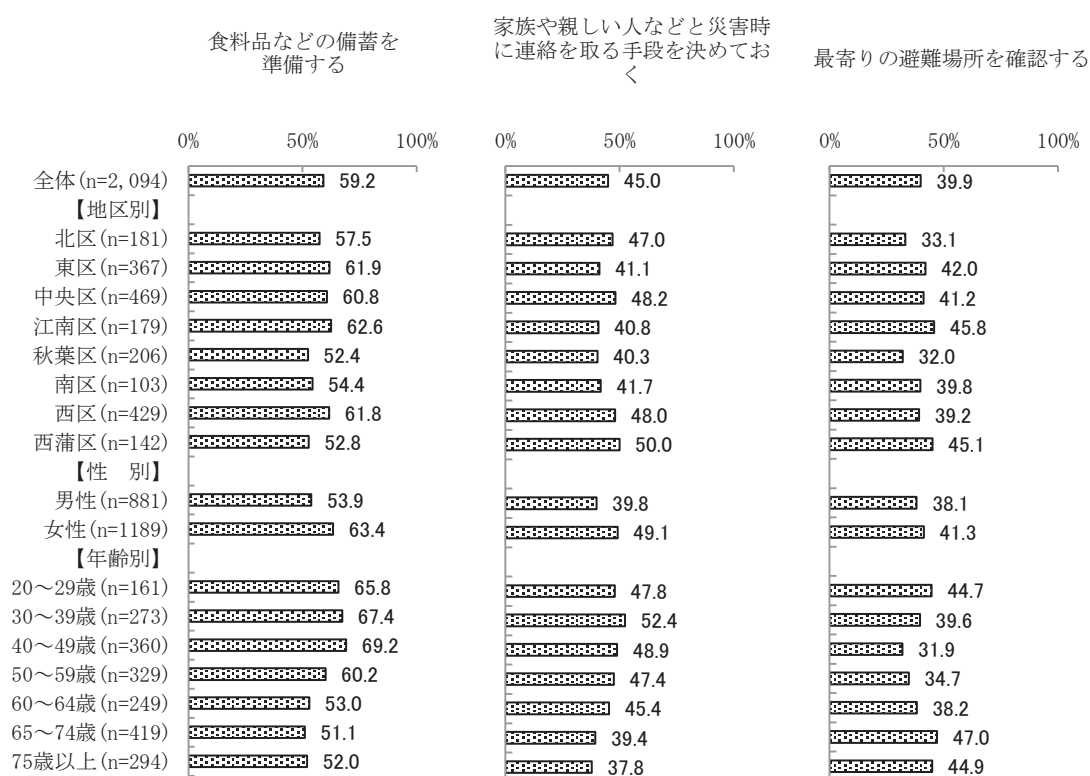


図 1-10 今後実施したい災害対策（地区別／性別／年齢別） 2/2

